

「博物館浴」その効果とこれからのを考える 研修会

今年4月に改正された博物館法の議論の中で、「これからの博物館に求められる役割」の一つに「社会や地域の課題にむきあうこと」が示されました。さまざまな課題のなかでも、福祉や医療は特に重視されていることがらです。それに関して、これまでに博物館が高齢者福祉の現場と連携しながら地域回想法に取り組んだり、医療現場で美術作品の鑑賞を導入したりする事例も見受けられるようになってきました。カナダでは医師会と美術館が提携して、治療の一つとして美術館見学を処方箋として出しているところもあります。

人々のストレス軽減や活気を甦らせるために、ミュージアムの資料や作品の活用は一定の効果があると言われ、最近では「森林浴」のように「博物館浴」という言葉も生まれ、その手法に注目が集まり期待が寄せられています。

今回の研修会では、博物館、福祉・医療・健康に関わる多方面の方々を対象に、「博物館浴」の現状、及ぼす効果と測定などに関するお話と実験をとおり、共通理解を深めて地域での連携のあり方や今後の方向性を考えていく場にしたいと考えます。

主催 みのかも文化の森・美濃加茂市民ミュージアム
岐阜県博物館協会（ひと部会 + 中濃ブロック部会）

日時 2023（令和5）年1月24日（火） 13:30～16:00

会場 美濃加茂市民ミュージアム 緑のホール（岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1）
（TEL 0574-28-1110 <http://www.forest.minokamo.gifu.jp>）

13:00～13:30	受付
13:30～13:40	趣旨説明
13:40～14:55	講演「博物館浴」研究の最前線 講師：緒方 泉氏（九州産業大学地域共創学部教授）
14:55～15:10	質疑
15:10～15:20	休憩・準備
15:20～16:00	「博物館浴」の効果測定体験（20名）と見学

定員：80名（うち「博物館浴」の効果測定体験者20名） **参加料**：無料

参加申し込み：お名前、所属先、メールアドレス、効果測定体験希望の有無を記して、直接、もしくは <https://logoform.jp/form/XQZW/195723> へ、1月19日（木）までにお申込みください。



申込フォーム

*効果測定は、鑑賞の前に、生理測定（脈拍、血圧測定）と心理測定を行い、鑑賞のあと、同測定を行ってその変化、効果を見るものです。希望される方は申込時にお知らせください。事前の測定は、講演の前に行いますので、お手数ですが12:40までに受付へお越しください。

緒方 泉（おがた いずみ）

1957年東京都生まれ。九州産業大学地域共創学部教授。1985年福岡県教育庁文化課に入り、福岡県総務部国立博物館対策室などを歴任。2002年から九州産業大学美術館学芸室長、同大学美術館教授を経て2018年より現職。著書に『学芸員がミュージアムを変える！ - 公共文化施設の地域力 -』（2021年）などがある。専門分野は博物館学、臨床心理学。

【お問い合わせ】

美濃加茂市民ミュージアム 可児光生／長谷川明子
〒505-0004 美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1
TEL: 0574-28-1110 / fax: 0574-28-1104
E-mail: mitsuo.kani@city.minokamo.lg.jp

協力 美濃加茂市健康課、美濃加茂市高齢福祉課
美濃加茂市社会福祉協議会

本事業にご支援いただいている
企業・団体

公益財団法人
田口福寿会

OKB 大垣共立銀行

JUROKU Financial Group

十六銀行